



Adult Only ⇄

FORCED/MARCH.

Fate/stay night FAN BOOK

MERO MERO Factory XL

FORCED MARCH
- 強行軍 -



前書き。



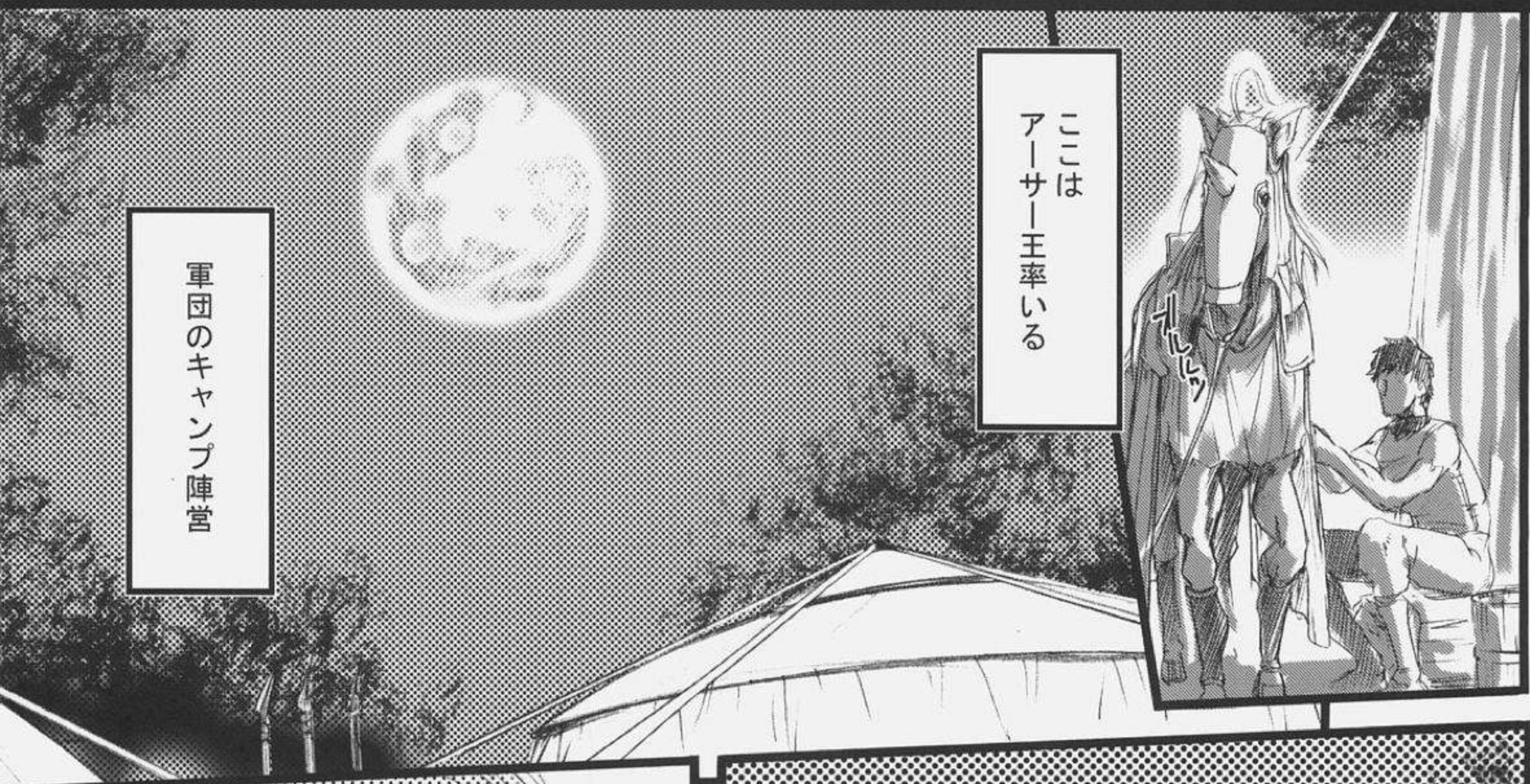
こんにちわ、操昌輝です。
やっぱりセイバーです。
大好きです。
縞々。

今回は王様時代のお話です。
鎧とか馬とか色々
難しいので、お見苦しい点
目を瞑って頂ければ幸いです。

ほいでは、
最後までお付き合い
よろしくお願い致します。



この時代に縞パンがあったと妄想しつつ・・・



軍団のキャンプ陣営

ここは
アーサー王率いる



ハキッ

ねぎらいの言葉を
かけているに違いない
：：律儀でおられる：：
だからこそ、我々は王に
命を掛けられるのだが：

一人一人に：

そろそろ俺の番か：：
王は俺のような兵卒まで
呼んで謁見しているようだ
：：おそらく皇帝との
戦いに備え：



王のテント前
兵士らの行列があつた。

謁見するものは
装備は外しておくようにっ



次の者っ！
中へ！

俺の番だ！？

前の番の奴…
すいふんと満足そうなの
ツラしてるな、どうやら
緊張する事はなさそうだな

失礼致しますっ

……よし！
……逆に我々が王の
励みになるよう、誠意を
みせるくらいでないとな……

またせたなっ
顔を上げよ
楽にしていい

ズツ

お主人、

どうした？
狼狽した顔をして……
やはり強行軍での
疲れがでてきているようだ

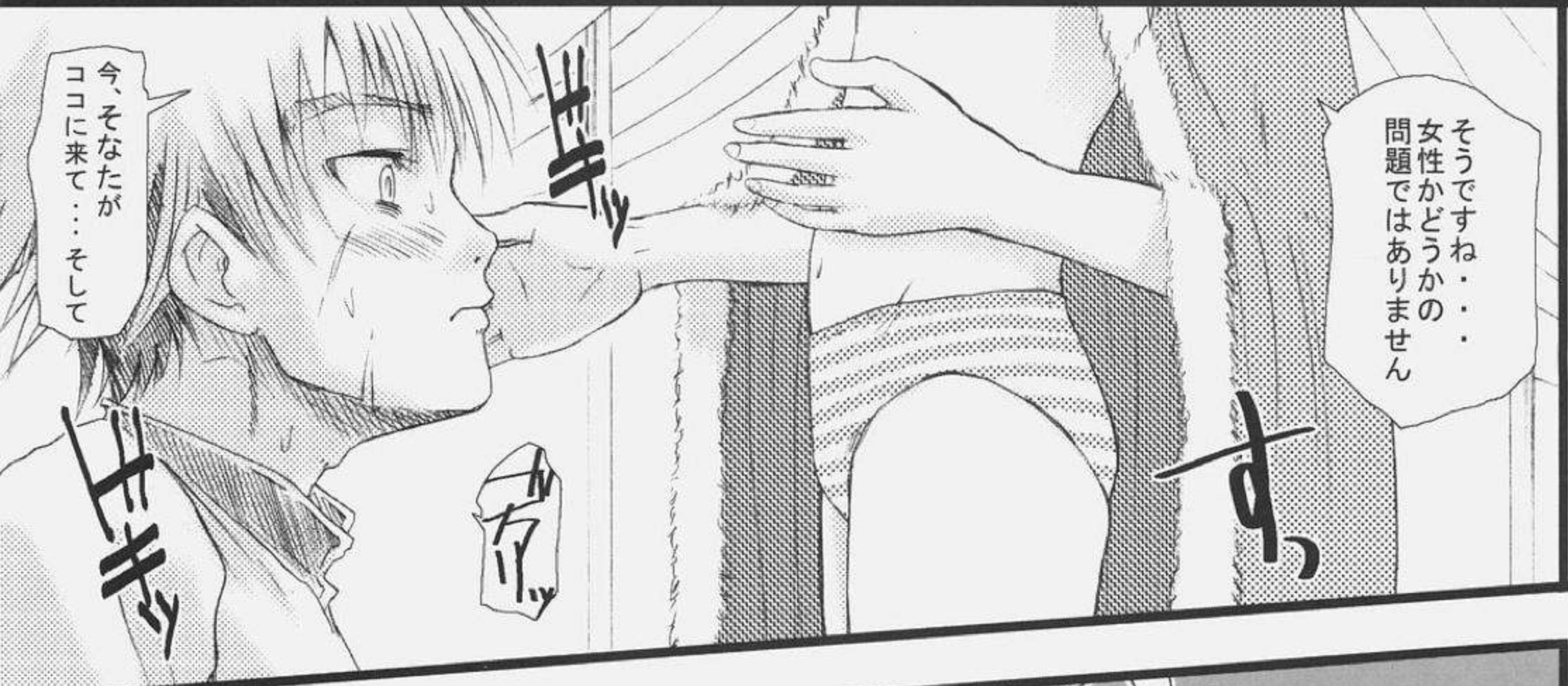
あ！いやっ
大丈夫であります！
……ただ、その……
王が……ええと

えっ!?

王が……
女性にみえ……
……女性でしたっけ？

テレ……
お嬢様

しましま〜♡



今、そなたが
ココに来て…そして

そうですね…
女性かどうかの
問題ではありません



…さあ



目の前に女の身体が
あるだけの事です

この身体をそなたの
好きなように使っている



それとも？
胸の大きい女性の方が
よかったか？

あ…ああ

ああ……王の
縞々はあはあ

本当にいいのだろうか……
……目の前に居るのは
お……王様だぞ……？
俺なんか兵卒……だぜ？

……何か考えて
いる様子ですね……

んっ

今、この時
そなたのために
用意した身体です

ふふ……何も
考えなくて良い

俺の……ために
用意された……身体
……俺のために……

ああ……
……王の

おま○こ……っ
すこくイイ臭い
です……
はあはあ……では直接……
弄らせて頂きますっ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ



小さな穴が…
ひくついてますね
パクパクと

フハッ
フハッ

あ…
湿っている



ズル!

あ…
むん…

これが王の…
…小ぶりで可愛いな



ええ…
期待して
いるのです

そなたが、その穴を
激しく弄るのか…
…それともやさしく
愛撫するのか…色々

ん…
ん…
ん…



す

そうだ！何もためらう
ことは無い、王が言うように
好きに使ってよいのだ
…俺は…俺はっ
…この穴を…穴を！



んあああ!?

うあ!?

思い切りほじりたい！



うああ！そんな
激しくほじったらっ

ふう・・・あああああ
すぐイキますううう！
っ！？

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ



っはあ！
・・・っはあ！

あ・・・あ

す・・・すごいですね
一瞬でイカされました
おま○こ・・・ジンジン
しています・・・っはあ...

んはあっ！？



次……

はあ……

はあはあ……次は
コレを穴に……直接……

……思い切り
突いても……よろしい
でしょうか……？

次はハメたい！
この穴にハメたいっ

はやく……奥までっ
思い切り中に！

え？
もちろんです
ですが……えっ……ああ
あの……そ……そんなに
大きいのですか？

……っはあ

ん
あ
あ
!?



ひんっ

あっ
あっ

はっ

や...そんなつ
おま〇こ...
つめくれう

リレイ再生

ひあっ

あっあ

ひんっ

あ



はあ！

ぐっぐっ

おおっ

ガッ

あ！

ん
ああ
あ

このようにして王はの
兵士ひとりひとりの
謁見は続けられた。

ガッ

グッ

グッ

ああ…暖かい
いっぱい射精ましたね
スッキリしましたか？

はあ…はあ
はい…王…
とてもスッキリ
しました。

ふふ…それでは
落ち着いたら
持ち場に戻り今日は
ゆっくり休むと良い。

はあ

はー

はあー

どうですか？
この水着は

ああ……と……
とても似合って
……います

ふふ……ソレの
様子だと気に入って
もらえたようですね

そして、謁見の度に
様々な衣装に着替え
様々な要求に答えた。

さて、そなたは私で
何をしたいですか？

では王の……
手……でっ
……手コキで！



おは……はい
……っう

では、そのまま
こちらへ来てください

ああ……そなたの
おちん○んは蒸れて
すごい匂いがしますね
……ああ……

興奮してきます。



ただの手コキでは物足りないでしょう
……ああ

はう

おお……っ

れろろ

唾液で全体をヌメラらせてから思い切りシゴきます。

んはあ……れるれる……



んああ……♡

ぬにっ

あ……
……はあ♡

出カッ

ぬにっ

ぬに、

あああああ……王が私目のちんぽに唾液を垂れ流しながら舌を押し当てている……っ

出カッ



はあふう……そなたの匂いと私の唾液が混ざって……すごい臭いになっていきますよ……

んん……ん……とても臭くて良いです……ん♡

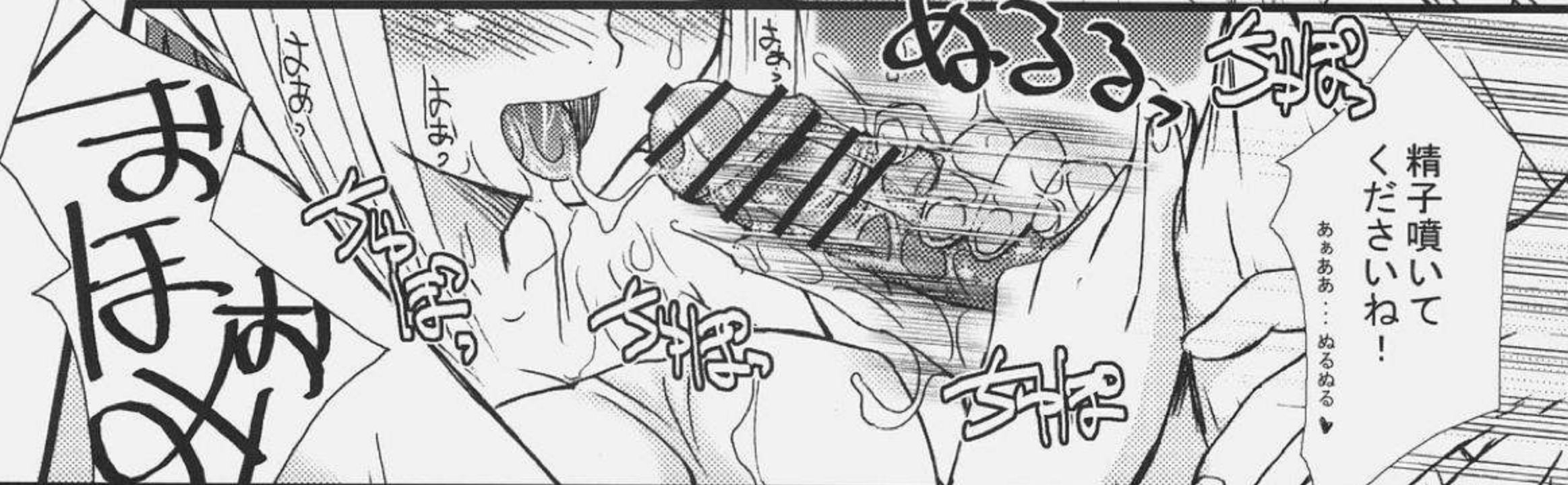
くんくん

ぬとおー

んん……まだヌメリ足りませんね……ん、これでは……はあ十分に手を滑らせる事ができません……全体に……馴染ませないと……んちゅ

ちゅ♡





ああっ
来て！

射精してください
精子全部出してっ！

キアッ

キアッ

射精す
ますっ
射精す
ますっ
射精す
ますっ

射精す

↑セ、かくの水着なの股アップ

!?

キアッ

射精す

おおおおお

すげえ...マジすげえ
精子...一噴きで...
全部でちまった...
王の唾液つかった手コキ...
マジすげえ...はあはあ...

キアッ

...ほああ...

ぬとが...

もう、玉にも
精子残ってません...
王...すごく
スッキリしました。



中には配慮遠慮をする者もいたが

私を好きにしていいのですよ？
これでは、まるで

自慰
ですよっ

…コレっていいのですか？

だけでも、王様の気持ちがありますだ…
受け取りますだ…
王様はどうぞ楽しんでいてくださいっ

…はい、そうですね
オラなんか王様を好きにするなんてめっそもないです

はあ

はあ



っ!?

ばか者!

そんな気を使う事はありません！
私なら大丈夫ですっ



ええい！
そなたの気遣いはうれしいが
これでは私の気が済みません！

お…っ
王様!?

せめて私の手でしごきます！



お：王様：：
王様がオラのちん○
しこいてるだあ：：

ああ：：
これはまるで

私におち○ちんが
生えているようです
ある意味いやらしい
ですね：：はあはあ

おお：：おうさまあ！
うおお射精ますだあっ

はい！
射精してっ

射精してください！

ああっ♡

趣向問わず
皆、謁見には
満足して持ち場に
戻っていった。

おおおおお
王さまあ！

ご主人様♡
その太くて固い
おち〇ちんを

私のいやらしい
恥穴に突き刺して
ください♡

時にはキャラを
かえたり…



はい！
喜んで突かせて
いただきます！

んっ♡

ぬちっ

っ！?



子宮がつぶれるっ♡
ひはあ



王様！

あ！

王様っ！

気持ちよすぎ
ですうう！

王様あ！

中にっ！膈内にっ
射精してもいいですか？

はい！

恥穴にいっぱい
注いでください！

ああっ♡

くうううっ！
恥穴が広がってえっ！

王様！

あ！

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

うおおおっ
射精るう！

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ

ズッパッ



くさっ

そなたの
ちんぽは臭い

キヤラ変わりすぎ
だったりもして

おおっ

足で失礼する。

はうっ

おっ・・・王が足でっ！
わたしめの臭いちんぽを
コイてくださいっっているう！

なんだ？先汁なぞ
出して・・・そんなに
足がいいのか？



しかも、いまにも
破裂しそうではないか？
だらしないなっ

この臭い
ちんぽはっ！

まあよい：
我慢するな
射精してよい

おっ

うはう！

はうい！

おっおお！
ああ……っ！

スッパッ
スッパッ
スッパッ



……おい……勢いよく
射精しすぎだ服が汚れた
……どうしてくれる？

はあはあ……王
す……すいません
つい気持ちよくて

ん……まあよい
そなたが満足なら
それで良しです。

こうして兵士達との謁見は
深夜まで続いた……

…そして

夜が明けた。



おお！なんとつ
一夜にしてここまで
士気が回復するとは！
…いや、これは…むしろ
進軍前以上の士気の高ぶりです。

なんと
頼もしい！



…しかも
この士気の高揚には
王への並みならぬ
忠誠心も感じられます



マーリン！あなたの
進言通りこの度の
野営は大成功です！
いったい何故でしょう？

おう！ほ！
そ…それは
たぶん…！ほ！

*マーリン資料無いので、代理でサルマンっぽい人。



きっと良い夢でも
見たのでしょうか。

たぶん…？

夢落ちでした。

END

あとがき。



最後までお付き合いありがとうございます。
如何でしたでしょうか？
右手のお供に左手で見ていただければ
これ以上の喜びはありません。

▽作品について▽

さて、もしかしたら今回の仕上がりが
線の感じがいつもと違うかもしれません。
というのもスキャナーを買い替えたのですが
こいつがどうも上手い具合に線を取り込んで
くれなくて、、逆にコレはコレで上手く
仕上がっていればOKなんです。
出来上がるまで心配です（'A`）
マニュアルちゃんと読まなきゃなあと反省。

▽ホロウについて▽

やっぱりセイバーでした。
セイバーが絡むイベントを終始ニヤニヤしながら楽しんでました。
恋してるなあ俺…セイバーに、たぎる肉棒を股に挟んで
脇の匂い嗅ぎながら思い切り弾けたいと思いました。（←最低
とりあえず私の中でセイバーの可愛さはグローバルスタンダードなので
非常に楽しめました。

アヴェンジャーのストーリーは、もう切ない気持ちで
いっぱいになりましたが。最後、神々しくも救いがあったので
私自身も、スッキリとエンディングを迎えることができました。
あとやはりライダーのストーリーが非常に楽しめましたね。
私も成功した慎二になりたいです。がんばります。

▽今後について▽

セイバー本。（きっぱり）

あと、丸々1年遅れている商業スケジュールを…2006年こそは…

であであ、またお会いしましょう。

奥付け

▼発行▼

メロメロファクトリー XL

▼著者 / 発行人▼

操昌輝（もちすけ てる）

▼印刷▼

しまや出版

▼発行日▼

2005/12/30

▼サイト▼

<http://www97.sakura.ne.jp/~mochisuketeru/>

▼メール▼

hal60760@rio.odn.ne.jp
mochisuketeru@hotmail.com

*MSN はメール専用に使っています。

▼注意▼

無断転載禁止です
無断複製禁止です
無断配布禁止です

